

## 青ネギ(ユリ科)



葉ネギとも言われるこのネギは、根元を残して収穫すると、また若い芽がのびてきて、2、3 回収穫することができるのよ。

みそしるや冷やっこなどの薬味として、あるととても便利ね。

芽のでかたがかわいいわ。



### ▼栽培手順



1

小さなプランターでも十分育ちます。  
プランターに苦土石灰(くどせっかい)を加えた土と元肥を入れて、しっかりしめさせます。  
種をまく部分に、浅くすじをつけ、種をパラパラと入れていきます。  
やさしく土をかぶせて、軽くおさえます。  
あまり深くうめたり、ギュッと土をかためると芽が出にくくなります。  
最後にきりふきで、水をかけます。



2

芽が出るまでは、乾燥をふせぐために、ぬれた新聞紙で上をおおっておきましょう。  
激しい雨も防いでくれます。  
水やりは、芽が出てしっかりするまで、きりふきを使います。  
新聞紙をめくって、毎日やりましょう。



3

3~5 日ほどで芽が出はじめたら、十分に日に当てます。  
ふたつに折れた状態で土から芽を出し、頭をもたげるようにのびてきます。  
葉の先に種の皮がついたまま、出てくるものもあります。  
おもしろいので観察してみましょう。





4

1日1回、たっぷり水やりをします。  
乾燥してまわりがかわるようなら、朝晩にやりましょう。  
苗が小さい間は、たおれないようにそと水をあげましょう。



たくさん発芽して込み合っていたら、ふれあうほど近いものを、少し間引きます。  
間引きたものは、芽ネギといって食べられます。  
「つま」として売られていることもあります。  
つまとは、料理をおいしそうに引きたてるかざりのことです。



5

どんどん大きくなってきます。



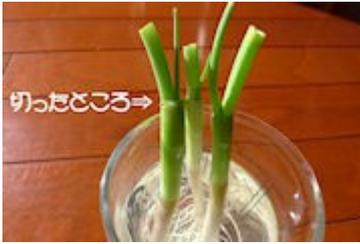
このくらいになったら収穫できます。



6

収穫するときは、大きいものから根元を切ります。  
肥料をあげておくと、そこからまた若い芽がでてきます。  
3回ほど収穫できるので、大事に育てましょう。





7

食べるために買ったアオネギでも、根っこがついたものなら栽培できます。根のあたりを 5cm ほど残して、上の青い部分を切って食べます。根は水につけてすずしいところにおいておくと、あっというまにのびてきます。太い茎の中ほど、うすく切り替えが見えます。



8

食べるために買ったみつばも、同じように栽培できます。ぜひやってみましょう。